

12月23日定例記者会見事項書

令和7年12月23日（火）午前11時～

市役所本庁舎4階 庁議室

1. 市長からの発表

（1）2025（令和7）年の伊賀市10大ニュース -----（資料No.1）

（2）ミュージックサイレン運転再開について -----（資料No.2）

（3）伊賀市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（中間案）策定に係る
オープンハウス型説明会開催 -----（資料No.3）

（4）令和8年伊賀市消防出初式 -----（資料No.4）

（5）特別職退職手当に係る不当利得の返還について

2. その他

（1）年末あいさつ及び年頭訓示について -----（資料No.5）

担当連絡先
伊賀市未来政策部秘書課 担当者名：兼重、南出 電話番号：0595-22-9600

2025（令和7）年の伊賀市10大ニュース

1 発表事項の概要

2025 年を振り返り、市民が市政等により関心を持っていただけるよう、本年中に市政や市民生活に影響があった出来事などを伊賀市の10大ニュースとして選定したので発表します（順位付けなし）。

出来事の選定対象

- （1）新しく取り組んだ事項（事業や施策）
- （2）市政を運営するうえで重要な事項
- （3）事業を実施するうえで変化の著しい事項
- （4）特に記念となる事項
- （5）他の市に比べ進んでいる、あるいは特徴のある事項
- （6）市民生活に大きくかかわるような事項
- （7）時代の要請にあったタイムリーな事項
- （8）市民自らがかわった先進的な事項
- （9）伊賀市で発生した事件や事故
- （10）その他、上記以外の事項

上記に関するものから、市政運営会議構成員の内、市長・副市長を除いた教育長・部長等による投票結果を参考に、市長・副市長が10件を選定しました。

2 発表内容

(1) 2025(令和7)年の伊賀市10大ニュース項目

1月	上野総合市民病院と名張市立病院の外来相互診療の開始	
2月 11月 12月	JR関西本線名古屋-伊賀上野を結ぶ直通列車・観光列車「はなあかり」の実証運行	
4月	パートナーシップ宣誓者へ事実婚同様の続柄表記による証明書を発行開始	
5月 8月	市長の広聴広報機能の強化として「ふれあいトーク」・「一日こども市長体験」の実施	 
7月 8月	新たな拠点誕生! 「旧上野市庁舎 SAKAKURA BASE」と伊賀流忍者体験施設「万川集海」オープン	

8月 9月	伊賀の伝統と祭りが大阪・関西万博に登場！	 
9月	第3次伊賀市総合計画の策定	
9月	戦後80年平和の集いなど平和事業を実施	
9月	子どもの医療費の窓口無料化を18歳まで拡大	
10月	プロ野球ドラフト会議における伊賀市出身2選手の指名	 

(2) 2025(令和7)年の伊賀市10大ニュースの概要

1月	上野総合市民病院と名張市立病院の外来相互診療の開始
----	---------------------------

伊賀地域の上野総合市民病院と名張市立病院が、今年1月から週に1回の外来相互診療を開始しました。上野総合市民病院からは肝胆膵外科医が、名張市立病院からは呼吸器内科医(今年7月からは総合診療科医)が出向き、地域医療の充実を図っています。この取組みは県内でも珍しく、医療の質向上に寄与しました。

2月 11月 12月	JR関西本線名古屋-伊賀上野を結ぶ直通列車・観光列車「はなあかり」の実証運行
------------------	--

伊賀市を含む県内の沿線自治体とJR西日本から構成される関西本線活性化利用促進三重県会議が、沿線地域外からの観光客の移動需要の検証を目的に、2月に名古屋駅と伊賀上野駅を直通で結ぶ実証列車の運行を行いました。また、11月・12月には関西方面からの誘客を目的に県内ではじめてとなる観光列車「はなあかり」の実証運行を行いました。

4月	パートナーシップ宣誓者へ事実婚同様の続柄表記による証明書を発行開始
----	-----------------------------------

性的少数者への理解を深め、権利を守るための人権施策の一環として、伊賀市パートナーシップ制度に基づく宣誓者に対し、事実婚と同様の続柄表記による行政証明書の発行を開始しました。このことにより、より多くの市民が自身の関係性を証明できるようになりました。この取組みを通じて、多様性を尊重し、誰もが安心して暮らせる社会をめざしていきます。

5月 8月	市長の広聴広報機能の強化として「ふれあいトーク」・「一日こども市長体験」の実施
----------	---

市長の出前講座「あなたと話したい!市長ふれあいトーク」が始まりました。この講座は毎月2回程度開催し、今年は11回実施しました。参加団体の方々と意見を交わし、現場で頑張っている皆さんのお話を伺うなど、市民の皆さんの声を直接お聴きすることができました。今後も市民の声を大切に、より良い伊賀市をめざしていきます。

さらに、未来を担う子どもたちを対象に、「一日こども市長体験」を実施しました。この体験では、10人の小学生が市長と直接対話し、自分たちの考えや感じていることを伝えました。子どもたちが、市長の公務や市の課題について学ぶことで、市政への関心と理解を深め、郷土愛を育むことを目的としています。

7月 8月	新たな拠点誕生！「旧上野市庁舎 SAKAKURA BASE」と伊賀流忍者体験施設「万川集海」オープン
----------	--

旧上野市庁舎がリニューアルされ、複合施設「旧上野市庁舎 SAKAKURA BASE」として7月19日にオープンしました。この施設には観光案内所、物産販売、宿泊施設、カフェが併設され、地域の皆さまや国内外の観光客を迎える準備が整いました。

さらに、伊賀流忍者体験施設「万川集海」も8月27日にオープンしました。ここでは「伊賀流忍者」をテーマに、五感を使った体験型アクティビティを提供し、地域の観光資源としての魅力が一層高まることを期待しています。

また、丸之内地下道の美装化も完了し、10月10日から新しい観光情報発信のストリートとして生まれ変わりました。地下道のディスプレイが一新され、地域の観光名所や文化、歴史を紹介しています。新たな拠点の誕生をぜひご体験ください！

8月 9月	伊賀の伝統と祭りが大阪・関西万博に登場！
----------	----------------------

8月22日、大阪・関西万博の三重県ブースにおいて、伊賀市の国指定伝統的工芸品「伊賀焼」と「伊賀くみひも」の実演展示が行われました。伊賀焼では、参加者が陶土に触れながらおわんの形を作る体験を楽しみ、伊賀くみひもでは帯締め作成の実演や、実際に組みひもを組む体験が行われました。これらの体験を通じて、多くの方に伊賀の魅力を伝えることができました。

さらに、9月22日には、大阪・関西万博のメインステージ（EXPO アリーナ）で「MIE フェスティバル in EXPO」が開催され、伊賀市からユネスコ無形文化遺産である「上野天神祭」と「勝手神社の神事踊」が出展されました。上野天神祭のダンジリ行事のお囃子鬼行列や、勝手神社の神事踊の優雅な舞いが披露されました。また、アリーナでは伊賀市の事業者による物産販売やガラポン抽選会も実施し、市への誘客を促進しました。

万博という国際的な舞台で伊賀の伝統文化やブランド力を広く発信できたことは、今後の誘客や地域活性化に繋がる重要な取り組みとなりました。伊賀市の魅力をぜひご注目ください！

9月	第3次伊賀市総合計画の策定
----	---------------

伊賀市では、令和7年度から令和10年度までの4年間で計画期間とする第3次総合計画を策定しました。この計画のめざす姿は「すべてのひとが輝く 地域が輝く ～みんなで話そう 伊賀市の未来～」です。10年先の未来を見据え、4年間で取り組む政策を体系的にまとめています。

また、計画では「こどもが育つ、大人も育つ」「持続可能なまちを未来に引き継ぐ」「つながりを結び直す」の3つの「みんなのテーマ」を掲げています。このテーマに基づき、市民やさまざまな団体が協働し「共感による参加型社会」を築き、将来像の実現をめざします。

9月	戦後80年平和の集いなど平和事業を実施
----	---------------------

ヒロシマとナガサキの被爆、そして太平洋戦争の終結から80年を迎え、伊賀市では「戦後80年平和の集い」を実施しました。この集いの目的は、次世代の平和構築に向けた人材を育成することです。

平和の集いに向けて、例年行っている「非核平和推進中学生広島派遣事業」の学習内容を強化しました。全国22都道府県、72市区町村から約800人の中学生・高校生が参加する交流会にも参加し、事前学習で得た平和への思いを発信しました。

また、市内の戦争遺跡を活用し、緑ヶ丘中学校と伊賀鉄道丸山駅に「平和のサイン」を設置しました。さらに、戦争遺跡のフィールドワークも企画・実施しました。

また、戦後80年の意義を市民に伝えるため、「伊賀市非核平和都市宣言」を掲げた懸垂幕を市庁舎に設置し、啓発活動を行いました。市の広報には戦後80年に関する特集記事も掲載しました。平和の大切さを改めて考える機会となることを願っています。

9月	子どもの医療費の窓口無料化を18歳まで拡大
----	-----------------------

安心して子育てができる環境を整えるため、子どもの福祉医療費の受給対象者を拡大しました。これまで15歳までだった対象者の年齢を、18歳までに延長しました。これにより、三重県内の医療機関での窓口負担が無料となり、子どもたちの医療へのアクセスがより一層向上します。この取組みは、子育て家庭の負担軽減を図り、地域の福祉を充実させるものです。

10月	プロ野球ドラフト会議における伊賀市出身2選手の指名
-----	---------------------------

プロ野球ドラフト会議において、藤原 聡大（ふじわら そうた）さん（花園大学）が、東北楽天ゴールデンイーグルスから第1位指名を受けました。西川 篤夢（にしかわ あつむ）さん（神村学園伊賀）が、広島東洋カープから第6位指名を受けました。両選手の活躍を心より期待しています。伊賀市から新たなスター選手が誕生することを楽しみにしています！

担当連絡先
伊賀市産業農林部中心市街地推進課
担当者名：森中、中澤
電話番号：0595-22-9825

ミュージックサイレン運転再開について

1 発表事項の概要

昨年 10 月に故障により運転を停止しておりました、旧上野市庁舎に設置されているミュージックサイレンについて、修繕をおこない運転を再開しました。12 時と 18 時に自動で吹鳴をおこなっています。

長年にわたり地域の音の風景として親しまれてきたミュージックサイレンは、2024 年に伊賀市指定文化財に指定されています。経年劣化などで維持管理が大変難しいという課題はありますが、関係者のみなさまのご協力により、可能な限りその音色を届けていきたいと考えています。

2 発表内容

(1) 不具合の原因と対策

2024 年 10 月 18 日にサイレンが鳴り続ける不具合が発生し、オルゴール部分の動作不良が原因であることが判明しました。

元ヤマハの技術担当者にご指導いただきながら、市内電気事業者と修繕方法を検討し、オルゴール部分の接点の補修やリレースイッチの設置など、技術的な修繕を実施しました。



(2) 復旧概要

12 時と 18 時の一日 2 回自動運転による吹鳴ができるようになりました。

担当連絡先
伊賀市人権生活環境部 環境政策課 担当者名：福田、谷岡、田槇 電話番号：0595-22-9624

伊賀市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（中間案）策定に係る
オープンハウス型説明会の開催について

1 発表事項の概要

オープンハウス型説明会を開催しますので情報提供します。

2 発表内容

（1）目的

昨年4月に2050年のCO2排出量実質ゼロを掲げる「伊賀市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。今年度は、その実現に向け、市民や事業者の皆さんと共に具体的な取り組みを進めるため、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、「伊賀市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定しています。地球温暖化対策の重要性や興味を持っていただき、市民の皆様からの意見を聴取することを目的に「オープンハウス型説明会」を開催します。

（2）日時

令和8年1月15日（木）10：00～15：30

（3）場所

イオン伊賀上野店（三重県伊賀市上野茅町 2519）
1階サービスカウンター横

（4）参加費

無料

私たちの地球温暖化対策 オープンハウス型説明会

オープンハウスとは？

パネル展示や対面での説明などによる
情報提供と、アンケートや聞き取りに
よる意見聴取を行う会のことです。

2026年1月15日(木)

入退場自由

対面での説明

「気候危機」は待ったなしです。

未来のために、地球温暖化対策と

持続可能なまちづくりを市民参加で

進めましょう！

伊賀市長
いなもりとしなお
稲森 稔浩



イオン伊賀上野店
1階サービスカウンター前
(伊賀市上野茅町2519番地)
時間 10:00～15:30

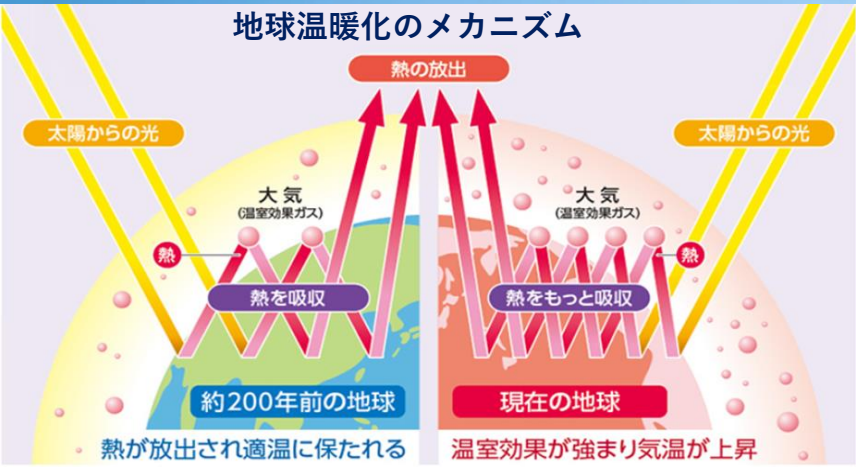
お問い合わせはお気軽に
伊賀市 環境政策課まで
☎ : 0595-22-9624
mail: kankyou@city.iga.lg.jp

2026年度に伊賀市地球温暖化対策実行計画 （区域施策編）を策定します

「伊賀市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」は、伊賀市の市民、事業者、行政が一体となって地球温暖化対策に取り組むための計画です。この計画をより良いものにするために、皆さまからの貴重なご意見をお待ちしております。

【計画期間】

本計画は2026年度から2035年度の10か年です。
なお、最終目標は2050年度のカーボンニュートラルを目指しています。



【温室効果ガスの削減目標】

【2030年度削減目標】
2013年度比 46% 削減
【2035年度削減目標】
2013年度比 60% 削減

【大きな取組方針】

基本方針	基本施策
(1)省エネルギー対策	①省エネ行動の普及啓発・促進 ②中小企業の省エネ化・脱炭素経営の推進 ③住宅・建築物の省エネルギー化の促進
(2)地域に適した再生可能エネルギーの導入	①公共施設における再生可能エネルギーの率先導入 ②市民・事業者における再生可能エネルギーの導入促進 ③次世代型エネルギーの利活用に関する調査
(3)脱炭素型まちづくり	①次世代型自動車の普及促進 ②自転車利用、公共交通の利用促進 ③脱炭素に貢献するDXの推進 ④ゼロカーボン×地域特性を活かした観光の推進 ⑤J-クレジット制度の推進
(4)持続可能な循環型社会の形成	①ごみの減量化の促進 ②食品ロスの削減・有効活用の取組 ③リサイクルの推進
(5)農林分野における取組強化	①豊かな森づくりによる森林吸収源対策の促進 ②畜産における取組の推進

パブリックコメント募集中
(2026年1月13日まで)



← パブリックコメント専用二次元コード

担当連絡先
伊賀市消防本部 消防総務課 担当者名：北嶋、恵土、福永 電話番号：0595-24-9100

令和8年伊賀市消防出初式の開催について

1 発表内容

(1) 目的 消防職員及び消防団員の士気高揚と、市民の皆様に消防への理解と信頼を深めていただくこと及び防火意識を高めていただくことを目的に執り行います。

(2) 日時 2026（令和8）年1月10日（土） 午前10時00分から正午まで

(3) 場所 伊賀市文化会館（伊賀市西明寺3240-2） TEL：24-7015

(4) 参加（見込）人数

伊賀市消防本部職員 約60名、伊賀市消防団員 約360名

(5) 内容 文化会館ホール：式典

優良消防団員表彰

火災予防啓発劇（消防団）

ホワイエ：防火・防災啓発

展示（マイナ救急、住宅用火災警報器、
バルーンアート、避難所用資機材等）

会館入口：車両展示（梯子車、化学車、救助工作車等）

会館前：車両行進

消防本部車両 5台（市内小・中学生同乗）

消防団車両 22台（消防団員家族同乗）

(6) 主催者 伊賀市

(7) その他 文化会館内外のすべての会場で一般の方の入場が可能となっています。
また、車両行進では、市内の小・中学生が消防職員と一緒に、消防団員の家族が消防団員と一緒に消防車に乗って参加します。

令和8年

でぞめしき

伊賀市消防出初式



車両展示



消防団員表彰



車両行進

令和8年1月10日(土)午前10時～

【場所】伊賀市文化会館(西明寺3240-2)

お問い合わせ:伊賀市消防本部消防総務課 0595-24-9100



伊賀市ホームページ

【式典】（文化会館ホール）

- 10：00～ 開式のことば
- 10：05～ 優良消防団員表彰
- 10：25～ 市長訓示・来賓祝辞・来賓紹介
- 11：00～ 火災予防啓発劇（消防団）
- 11：18～ 閉会のことば

（文化会館前）

- 11：30～ 車両行進（本部：市内小中学生同乗）（団：団員家族同乗）

【展示・啓発】（文化会館入り口）

- 10：00～ 梯子車、化学車、救助工作車、救急車、指揮車、住宅用火災警報器、マイナ救急、避難所資機材、非常持出袋、ハザードン（アルファ化米プレゼント）、バルーンアート（プレゼント）など

伊賀市文化会館駐車場配置図



※一般の方は第2・第3駐車場へ駐車してください。

担当連絡先
未来政策部 秘書課 担当者名：兼重、野口 電話番号：0595-22-9600

「年末あいさつ及び年頭訓示」について

1 発表事項の概要

市長の「年末あいさつ及び年頭訓示」は、下記のとおり取材日時を設けますので、取材いただきますようお願いします。

なお、取材いただける場合は、事前に秘書課までお知らせください。

2 発表内容

【年末あいさつ】

(1) 日 時 12月26日(金) 午後4時～

*市長が、本庁舎の各部署を4階から順次まわります。

【年頭訓示】

(1) 日 時 1月5日(月) 午前10時～午前10時10分

場 所 伊賀市本庁舎 4階 庁議室

*庁議の冒頭(訓示)のみを公開します。

訓示終了後は、速やかにご退室いただきますよう、お願いいたします。

*職員には、グループウェアの掲示板に庁議で収録した訓示の動画を掲示します。